

思い出の1ページ



六栄小学校 「プール開き」 水しぶきの音と児童の歓声

「ワーッ!!」「きゃーっ!!」子どもたちの歓声が上がります。

6月11日、学校公開日にあわせて本年度「プール開き」を実施しました。

2校時に3・4年生を、3校時に1・2年生を、4校時に5・6年生を、「じゃんけん列車」や「ゴムホース取り」「ぐるぐる渦巻き」「ボールリレー」など、各学年の発達段階にあわせたメニューで行いました。



▲プール開き（じゃんけん列車）



▲みんなでプール掃除

水はまだ少し冷たかったようですが、どの子どもたちもいざプールに入ると目をキラキラさせて1年ぶりのプールをとっても楽しんでいました。

「クロールの息づきが上手にできるようになりたいです」

「バタ足で強くキックできるようになりたいです」

「25メートル以上泳げるようになりたいです」

「平泳ぎをきれいなフォームで泳げるようになりたいです」 などなど

子どもたちは、それぞれことしの目標を立てて「プール開き」に臨みました。

この日は学校公開日でしたので、多数の保護者の人にも参観いただきました。

「プール開き」を迎えるため、デッキブラシでプールの中をしっかりと磨いてくれた4・5・6年生の子どもたちはもちろん、これに先立ちプールサイドを高圧洗浄機など使ってきれいに掃除いただいた「長洲友の会」の皆さんに心から感謝申し上げます。

さまざまな泳ぎ方の習得や、より速く、また長い距離を泳ぐことができるようになることもそうですが、水泳は「命」を守るために、水に慣れ・親しみ、水への対応を学ぶことも大切な目的です。学び多い水泳学習にしたいです。



腹赤小学校 校内童話発表会

6月14日（金）、学校開放日にあわせて、校内童話発表会を行いました。

各学年での予選を経て、代表2人ずつが低学年の部、高学年の部に分かれて発表します。

本年度の各学年の代表者と発表作品は、次のとおりでした。



▲「心をこめて、相手に伝わるように発表」



▲「真剣に聞き入る子どもたち」

1年 中山 和郁「もったいない ばあさん」

松村 斗輝「がんばれ パトカー」

2年 久保 和斗「けしゴムくん」

古澤 夢叶「ちいさな くれよん」

3年 池田 颯真「一日だけうさぎ」

西尾 悠良「ええ たまいつちょう!」

4年 村里 明花「いまから ともだち」 村里友理奈「へなちょこ」

5年 西辻ひかる「あの日をわすれない はるかのひまわり」

馬場 ふみ「ウェン王子とトラ」

6年 橋垣 健人「八郎潟の八郎」

川上 結空「大人になれなかった おとうと」

声色を工夫したり、話すスピードや声の大きさを変えたりと、どの発表者もさまざまな工夫を凝らした素晴らしい発表でした。

学年毎の予選でも、代表選びに困るぐらい熱心な取り組みが見られました。これも「読書活動日本一」を目指して取り組んでいる成果だと思います。これからも読書が好きな子どもたちを増やすよう取り組んでいきたいと考えています。

なお、12人から学校代表の3人が選ばれ、町の童話発表会に出場します。